

① 採用した労働者に占める女性労働者の割合（令和6年度）

<職種>	<男性>	<女性>
教員（常勤）	75.0%	25.0%
教員（非常勤）	72.7%	27.3%
職員（常勤）	62.5%	37.5%
職員（非常勤）	34.4%	65.6%
全体	44.8%	55.2%

・職員（非常勤）の採用数が多く、うち女性が約65%を占めるため、全体としては女性の採用割合が多くなっている。

② 男女の平均勤続年数の差異（令和6年4月現在）

※採用日～令和6年4月1日までの年数

※期間の定めのない労働者（任期付き常勤教員除く）

男性 15.12年 女性 11.41年 差異 1.32倍

・男性の勤続年数20年以上の割合が多くなっているため、全体として男性の勤続年数の方が長くなっている。

③ 男女の賃金の差異（令和6年度）

区分	男女の賃金の差異 (男性の賃金に対する女性の賃金の割合)
全労働者	49.06%
正職員	80.12%
パート・有期社員	83.25%

・「正社員」間、「パート・有期社員」間ではそれほど大きな差異はないが、「全労働者」で見た場合には、「パート・有期社員」の女性人数が多いため、大きな賃金の差異として表れている。

④ 育児休業等の取得割合

令和6年度における男性労働者の育児休業等の取得割合：11.1%

・特に教員は取得しにくい状況であるため、上記のと通りの取得率となっている。